

提供日	令和 8 年 10 月 23 日 (金)
タイトル	合併を一つの選択肢として研究・検討する新たな任意研究会への参加方針について
内容	<p>令和8年10月5日に、泉佐野市及び泉南市（以下「提案市」という。）から提案のありました合併を一つの選択肢として研究・検討する新たな任意研究会について、本市としての対応方針について、下記のとおり決定しました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 任意研究会への参加方針 本市は、「阪南の未来と市民の暮らしを最優先」に、持続可能な行政体制のあり方を主体的に検討するため、提案市から提案のあった任意研究会に参加することとします。</p> <p>2. 任意研究会への参加の目的 人口減少等が進む中、市民サービスを維持・充実していくため、任意研究会で得られる成果や情報を活用し、「単独での市政運営（広域連携を含む）」と「合併」の2つの将来像を本市の立場から比較・検討するための材料を整えることを目的とします。 なお、任意研究会への参加は、合併そのものへの同意や、合併を前提とするものではありません。</p>
市長コメント	<p>【市長コメント】 今回の研究会への参加は、直ちに合併を進めることを意味するものではありません。人口減少など、本市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中においても、将来にわたり必要な市民サービスを維持・充実していくため、単独での市政運営や広域連携、合併を含むさまざまな選択肢について、客観的な情報を収集し、その効果や課題を検証するものです。「阪南の未来と市民の暮らしを最優先」に、持続可能な行政運営のあり方を検討するための材料を整えてまいります。</p>
添付資料	【阪南市報道提供】新たな任意研究会への参加方針について
担当課	阪南市 未来創生部企画課 矢島 電 話 072-489-4585(直通)



令和8年10月23日
阪南市未来創生部企画課

合併を一つの選択肢として研究・検討する新たな任意研究会への参加方針について

令和8年10月5日に、泉佐野市及び泉南市（以下「提案市」という。）から提案のありました合併を一つの選択肢として研究・検討する新たな任意研究会について、本市としての対応方針について、下記のとおり決定しました。

記

1. 任意研究会への参加方針

本市は、「阪南の未来と市民の暮らしを最優先」に、持続可能な行政体制のあり方を主体的に検討するため、提案市から提案のありました任意研究会に参加することとします。

2. 任意研究会への参加の目的

人口減少等が進む中、市民サービスを維持・充実していくため、任意研究会で得られる成果や情報を活用し、「単独での市政運営（広域連携を含む）」と「合併」の2つの将来像を本市の立場から比較・検討するための材料を整えることを目的とします。

なお、任意研究会への参加は、合併そのものへの同意や、合併を前提とするものではありません。